

都市再生整備計画 事後評価シート
十王・若宮地区

平成23年3月

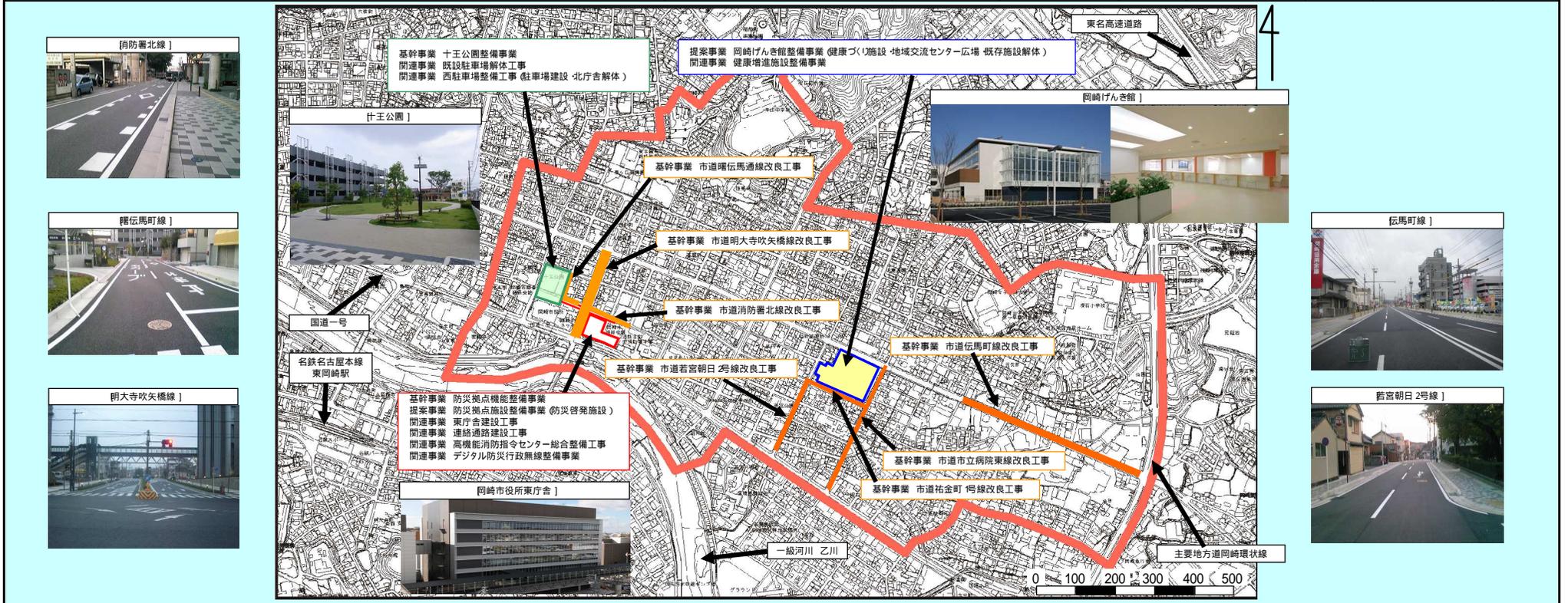
愛知県岡崎市

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	岡崎市		地区名	十王 若宮地区		面積	130.0 ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	93.7百万円	国費率	0.412			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(市道消防署北線、市道曙伝馬通線、市道明大寺吹矢橋線、市道伝馬町線、市道市立病院東線、市道祐金町1号線、市道若宮朝日2号線)、公園(十王公園整備事業)、地域生活基盤施設(防災拠点機能整備事業)								
			提案事業	地域創造支援事業(防災拠点施設整備事業、岡崎げんき館整備事業)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし	-		-		-		-	
			提案事業	北庁舎解体工事	関連事業へ移行		-		-		事業内容の変更はなく、目標等への影響はない。	
			提案事業	地域交流センター広場	岡崎げんき館整備事業と統合		-		-		事業内容の変更はなく、目標等への影響はない。	
	新たに追加した事業		基幹事業	なし	-		-		-		-	
提案事業			なし	-		-		-		-		
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		-		-		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	健康づくり支援施設利用者数	人/年	38,000	平成17年度	235,000	平成22年度	-	400,000	あり なし	従前施設の機能に加え、多面的な健康増進支援施設が整備されたことにより、利便性・魅力が向上したことにより、利便性・魅力が向上し、利用者が増加した。	平成23年6月
	指標2	防災訓練 講習等参加者数	人/年	24,000	平成17年度	120,000	平成22年度	64,850	133,000	あり なし	市役所の防災展示コーナーを核として、防災訓練や防災関連施設めぐりなどの防災意識の向上に寄与する幅広い取組の実施により、参加者数が増加した。	平成23年4月
指標3	市民共同イベント参加者数	人/年	3,000	平成17年度	12,000	平成22年度	3,500	12,500	あり なし	市民会議の各種部会主催のイベントの実施や、岡崎げんき館特別目的会社による独自のイベント実施により、幅広い参加者を募ることができ、参加者数が増加した。	平成23年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4)定性的な効果発現状況	市役所庁舎の充実化と利便性の向上 市の災害対策の中心となる中央防災拠点機能の確保 防災啓発施設での展示による防災意識の向上 公共施設周辺の歩行空間の充実 歩行者・自動車動線の整序による道路の安全性の確保 視聴者周辺のオープンスペースと防災機能の充実 市民の健康づくり 交流の活発化											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	計画期間中(中間期)におけるモニタリングを実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			社会基盤の整備を活かした、安心安全・快適なまちづくりの取組みのなかで、今後も事業効果の評価と取組みの改善を行っていく。			
	住民参加プロセス	道路整備事業(改良工事)において、周辺住民へ事業計画や工事の際に説明会や意見交換会を実施した。また、施行前の境界杭の立会いを行う際に、沿線住民に整備に関する意見を聴取した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			道路沿線住民の道路清掃等の維持管理の参加の機会を共同で作っていく。また、地元との意見交換を頻繁に行うことにより、事業の円滑な執行に寄与する。			
	住民参加プロセス	岡崎げんき館整備基本計画への市民ニーズの反映を行うとともに、市民によるさらなる具体的な施設プログラムの企画立案や、市民とのパートナーシップによる施設運営を目指した基盤づくりを目的とした市民ワークショップを開催した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			岡崎げんき館での市民活動団体「市民会議」が発足した。			
	持続的なまちづくり体制の構築	岡崎げんき館での市民活動団体「市民会議」が、岡崎げんき館の運営に参画し、市民向けの講座などを定期的実施している。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			市民会議と協働し、健康づくりのイベントや事業等の提案等の強化を図る。			
持続的なまちづくり体制の構築	概ね町単位に組織された自主防災組織(防災防犯協会)の活動の活性化を図るとともに、活動マニュアルを市が作成・配布し、説明会を実施するなど、自律的な防災防犯の組織づくりを推進した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			地元住民による防災・防犯活動を実施している自主防災組織と市役所との連携を強化し、活動の充実化を図る。				

様式 2- 2 地区の概要

十王 若宮地区 (愛知県岡崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値			
業務機能の集積と良好な都市基盤を背景とした、安全安心・快適なまちづくり 岡崎げんき館を中心とした健康づくり活動の活性化 防災意識の向上による防止活動の活性化	健康づくり支援施設利用者数	単位：人/年	38,000	H17年度	235,000	H22年度	400,000	H22年度
	防災訓練・講習等参加者数	単位：人/年	24,000	H17年度	120,000	H22年度	133,000	H22年度
	市民共同イベント参加者数	単位：人/年	3,000	H17年度	12,000	H22年度	12,500	H22年度



まちの課題の変化	<p>< 解決した課題 > 歩道の拡幅やバリアフリー化や歩行者・自動車動線の整序が図られるなどにより、車両交通の円滑化と安全で快適な歩行環境が整った。 防災意識の向上に寄与する施設の整備により、多くの市民が防災活動等に参加している。 健康づくり拠点施設が多くの市民に利用され、市民会議によるイベントの開催など、住民主体での健康づくりが進められている。</p> <p>< さらなる改善を図る課題 > 安全安心な歩道のネットワーク化を推進する。 市役所と岡崎げんき館の公共施設周辺商店街の活性化を図る。 岡崎げんき館周辺での交通渋滞の対策をする。</p>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>市役所前のメインロードである市道明大寺吹矢橋線の舗装等の改良工事による良好で安心安全な歩行空間と、災害時の安全な避難路を確保する。 二十七曲などの歴史性を活かした道路整備による、歩いて楽しい歩行空間の形成や商店街の活性化を図る。 岡崎げんき館を起点としたウォーキング者をはじめ、周辺を回遊する人に魅力的な歩行空間のネットワーク化を図る。 岡崎げんき館へのまちバスなどの公共交通機関でのアクセス性向上による公共交通利用者の増加や、駐車場を増設などによる、施設周辺での交通渋滞の緩和を図る。 公共施設や観光施設などのサイン整備による、周辺からのアクセス性の向上を図る。 空き店舗対策や沿道の商店街の建物ファサード改修などによる、魅力的な商店街の形成を促す。 公共施設の防災機能をPRし、普段の防災意識の向上を図るとともに、災害時の有効活用を促す。 自主防災組織による防災防犯活動や、市民会議による幅広い健康増進イベントの実施など、住民主体の活動を支援する。</p>